

「(仮称) 眉山と鎧塚古墳を学ぶ会」の活動計画

R7.10.19

【会の設置目的】

- ①眉山と鎧塚古墳を中心にデータ収集・整理・蓄積
- ②活動を通じて住民・市民に学びの場の提供(例会・講演会・現地視察など)
- ③広く情報発信(ホームページ・会報・地域情報紙など)
- ④住民参加の促進(学習活動等への参加・情報提供・応談など)
- ⑤地域の連携(地域のシンボルとして共有・まちづくりの目標として共有・岩野田、常磐地区との連携)
- ⑥地域・市の宝としてブラッシュアップ(畜産センター再整備との連携・地域ビジョンに位置付けるなどまちづくり協議会としての活動に反映)

【会の活動実績と今後の計画】

期日	活動内容	摘要
R7.9.21	まちづくりサロン内に研究会を設置	・会報発行・ホームページ掲載(9/23)
R7.10.9	市歴史博物館を訪問	・学芸員による鎧塚古墳、三井田里戸籍に関する説明・出土品の閲覧 ・歴博特別展「岐阜城と織田信長」鑑賞 ・ホームページ掲載(10/14)
R7.10.19	例会の開催	・歴博訪問結果のまとめ ・今後の活動について協議 ・まちづくりの芽ファイルの作成
R7.10.25	まちづくり協議会で発足の説明	・参加者募集(例会の案内) ・趣意書と会報を配布
R7.11.16	例会の開催	・市史など文献資料の学習(継続)
R7.12.21	例会の開催	・国指定史跡の経緯調査
R8.1.18～	例会の開催	・会の規約、名称(時期を見計らって)
R8.3	眉山山頂視察	
R8.9	鎧塚古墳に関する報告書(1次)案	・1年間の活動成果のまとめとして

【必要な作業・活動内容】

- ・会の規約作成 ⇒ 活動が軌道に乗った段階でタイミングを見計らって整備
- ・文献整理 ⇒ 岐阜市史、岩野田郷土誌など(図書館の活用も)
- ・古墳時代と美濃国の学習
- ・他の国史跡の指定経緯 ⇒ 他都市に照会
- ・北部地域の古墳の実態把握
- ・第1次報告書とりまとめ ⇒ 1年後(R8.9)をめどに発刊 ⇒ その後の活動の方向性を見出す
- ・現地調査
- ・講座開催 ⇒ 公民館講座など企画提案
- ・会報・ホームページ・地域情報紙での情報提供 ⇒ 随時
- ・栗野共有林野保護組合との連携
- ・常磐歴史研究会など他地区との連携
- ・小中学校へのアプローチ
- ・その他

